

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

国語

科目 言語文化

教科: 国語

科目: 言語文化

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 4 組

教科担当者: (1組: 勝山・内山) (2組: 勝山・内山) (3組: 勝山・内山) (4組: 勝山・松山)

使用教科書: (第一学習社 新編 言語文化)

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使うことができる。

科目 言語文化

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文、古文、漢文の学習を通じて、漢字、語句、文法や表現等の理解を深めるとともに、文脈の中で語感を磨き、語彙を豊かにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、具体的な活動を通して表現力や想像力を高め、自分の考えを広げて伝え合う能力や自分の考えを的確に表現する能力を育成する。また、意見交換を通じて多角的で客観的な思考能力を育成する。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読	読					
単元「小説を読む(二)」 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める方法を学ぶ。	教材…ほねとたね(川上弘美) ・文章の構成と段落分けの方法を理解し、実践する。 ・主人公の人物像および周囲の人物との関係を解釈する。 ・主人公の心理的な変化と成長を、的確に読み取る。 ・物語の構成をふまえ、情景描写と主人公の成長を読み取る。 ・作品の主題を的確に捉える。	○	○	○	【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を理解している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深める方法を学んでいる。	○	○	○	15	
定期考査						○	○		1	
単元「古文に親しむ」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学ぶ。	教材…なよ竹のかぐや姫(竹取物語) ・『竹取物語』の概要を理解する。 ・歴史的仮名遣いや古文を音読する際の留意点について理解する。 ・「なよ竹のかぐや姫」の内容や構成を的確に捉える。 ・登場人物のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容の解釈を深める。 ・「竹取物語」について知ったことを文章にまとめる。	○	○		【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文語のきまりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を理解している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学んでいる。	○	○	○	12	
単元「随筆を読む」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・文語のきまりを理解する。 ・歴史的な文体の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。	教材…枕草子「春は、あけぼの」「はしたなきもの」(清少納言) ・『枕草子』の概要を理解する。 ・「春は、あけぼの」の内容や構成などを捉えている。 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・『枕草子』の類聚の章段には複数の型があることを理解する。 ・助詞、助動詞の意味など文語のきまりを理解する。 ・作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深める。	○	○		【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解している。 ・文語のきまりを理解している。 ・歴史的な文体の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学んでいる。	○	○	○	12	
定期考査						○	○		1	

1 学期

2 学 期	<p>単元「小説を読む(二)」</p> <p>【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</p>	<p>教材…羅生門(芥川龍之介)</p> <p>・作者や作品の時代的・文化的背景を理解する。</p> <p>・小説の構造と展開を理解する。</p> <p>・表現上の工夫を指摘し、その効果を理解する。</p> <p>・主人公の特徴とその元となる基礎知識を理解し、物語の背景となる状況設定について理解を深める。</p> <p>・登場人物の発言や行動等を通して、その人物の心情を探り、その変化の理由を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</p>	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
2 学 期	<p>単元「和歌と俳諧」</p> <p>【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</p>	<p>教材…奥の細道 旅立ち/平泉(松尾芭蕉)</p> <p>・作品、作者、ジャンルについて理解する。</p> <p>・対句や漢語の読み方を理解して音読する。</p> <p>・俳諧記行文の特徴をふまえて、内容や構成などについての的確に理解する。</p> <p>・作者のものの方、考え方を理解する。</p> <p>・作品の背景を理解し、古典の世界に親しみをもち。</p>	○	○		<p>【知識・技能】</p> <p>【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解している。 ・文語のきまりを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学んでいる。</p>	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
3 学 期	<p>単元「漢文入門」「故事成語」</p> <p>【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学ぶ。</p>	<p>教材…漢文の学習 訓読に親しむ 「五十歩百歩」(孟子) 「矛盾」(韓非子)</p> <p>・漢文とその訓読について概略を理解する。</p> <p>・漢文と日本語の構造や性質の相違について理解し、訓読に関する用語を理解する。</p> <p>・返り点と送り仮名のきまりについて理解し、正しく音読する。</p> <p>・助字の読み方について理解し、正しく音読する。</p> <p>・「五十歩百歩」、「矛盾」の話が生まれた背景を理解する。</p> <p>・「五十歩百歩」、「矛盾」の内容や構成を捉える。</p> <p>・表現の技法とその効果について理解する。</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・訓読のきまりを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解している。 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学んでいる。</p>	○	○	○	13
	<p>単元「漢詩の鑑賞」</p> <p>【知識及び技能】 ・漢詩のきまりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学ぶ。</p>	<p>教材…唐詩の世界 「春曉」「静夜思」</p> <p>・絶句のきまりを理解する。</p> <p>・作者とその置かれた状況、詩題の意味を理解する。</p> <p>・訓点に従って正しく音読し、詩形と押韻について理解する。</p> <p>・作者の心情を読み取る。</p> <p>・進んで詩の解釈に取り組み、一首全体の構成を見渡しなが、自分のこととして作者の思いを推測する。</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 ・漢詩のきまりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に応じて調査する方法を学ぶ。</p>	○	○	○	13
定期考査						○	○		1	
合計										
105										

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

教科担当者：（1組：門脇・渡辺）（2組：門脇・渡辺）（3組：中尾・渡辺）（4組：中尾・渡辺）（組： ）（組： ）

使用教科書：（高等学校 公共）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】政治、経済、倫理などに関わる現代の諸課題について理解し、多面的・多角的に考察する。

【思考力、判断力、表現力等】諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を解決する態度を養い、自国を愛し各国民が協力し合う大切さについて自覚を深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題に対する理論や概念を多面的・多角的に考察し理解する。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を持たせる。	諸資料から事実を基に考察し、公正に判断する力や、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。広い視野に立ち、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として必要な資質・能力を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	大人ってどんな人？ 【知識及び技能】青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自己形成の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究する。 定期考査	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】自己形成の課題について考察できている。 【学びに向かう力、人間性等】自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。	○	○	○	6
	お互い理解し尊重するために 【知識・技能】伝統や文化、宗教などを背景にして現代の社会が成り立っていることを理解する。 【思考力、判断力、表現等】先哲の思想や伝統、文化、宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付く。 【学びに向かう力、人間性等】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究する。	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】伝統や文化、宗教などを背景にして現代の社会が成り立っていることが理解できている。 【思考力、判断力、表現等】先哲の思想や伝統、文化、宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 【学びに向かう力、人間性等】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている。	○	○	○	8
	誰もが生きやすい社会へ 【知識・理解】自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解する。 【思考力、判断力、表現等】自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立つて共感的に他者の思いを受け入れたりする。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に公共的な空間を作り出していることとする自立した主体であるという自覚した行動をとる。 定期考査	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解できている。 【思考力、判断力、表現等】自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり、様々な立場に立つて共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 【学びに向かう力、人間性等】自主的に公共的な空間を作り出していることとする自立した主体であるという自覚した行動をとる。	○	○	○	8
2 学 期	西洋近現代の思想 【知識・理解】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解する。 【思考力、判断力、人間性】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察する。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につける。 定期考査	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考力、判断力、人間性】先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察できている。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。	○	○	○	9
	現代の諸課題と倫理 【知識・理解】地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 【思考力、判断力、人間性】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりを考察する。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の諸課題を主体的に追究する。 定期考査	・教科書、補助教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・理解】地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考力、判断力、人間性】公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【学びに向かう力、人間性】選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の諸課題を主体的に追究できている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>民主社会の基本原理</p> <p>【知識・理解】人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、人間性】このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。</p>	<p>・教科書、補助教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・理解】人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、人間性】このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。</p>	○	○	○	5
	<p>政治に参加する私たち</p> <p>【知識・理解】地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、人間性】選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つ。</p>	<p>・教科書、補助教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・理解】地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、人間性】選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。</p>	○	○	○	5
	<p>経済活動を行う私たち</p> <p>【知識・理解】企業の役割や市場経済のメカニズム、各種経済統計や概念を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、人間性】企業倫理、市場メカニズム、経済のグローバル化等について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】消費者として合理的な行動がとれ、今後の日本の課題について主体的に考察している。</p>	<p>・教科書、補助教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・理解】企業の役割や市場経済のメカニズム、各種経済統計や概念が理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、人間性】企業倫理、市場メカニズム、経済のグローバル化等について考察できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】消費者として合理的な行動がとれ、今後の日本の課題について主体的に考察している。</p>	○	○	○	5
	<p>定期考査</p>			○	○		1

高等学校 令和8年度（2学年用）教科

数学 科目 数学A

教科：数学

科目：数学A

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

教科担当者：（1組：羽代・濱田）（2組：濱田・加藤）（3組：濱田・加藤）（4組：羽代・加藤）

使用教科書：（実教出版 高校数学A）

教科・数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識する。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率について理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身につける。	数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培う。	数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解するとともに、具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 ・集合 ・要素の個数 ・樹形図 ・順列	【知識・技能】 ・集合の要素の個数について関係式を理解し、補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。 ・和の法則・積の法則を理解し、それぞれの法則を用いて場合の数を求めることができる。 ・順列の考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数の関係を用いて、具体的な事象を考察できる。 ・順列の考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列の考え方を利用することに関心を持っている。 ・順列の考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。	○	○	○	10
	定期考査	中間考査		○	○		1
	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて簡単な確率を求められるようにする。	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 4. 順列 5. 組合せ 2節 確率 1. 事象と確率	【知識・技能】 ・順列や組合せの考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。 ・確率の基本的な法則を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・組合せの考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。 ・試行や事象の考えを用いて、確率の基本的な法則について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・組合せの考え方を利用することに関心を持っている。 ・試行や事象の考えを用いて、確率の基本的な法則について考察できる。 ・組合せや集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を考察できる。 ・組合せの考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。 ・確率について関心を持ち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。	○	○	○	13
定期考査	期末考査		○	○		1	
2 学 期	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	2節 確率 1. 事象と確率 2. いろいろな事象の確率 3. 独立な試行とその確率	【知識】 ・確率の基本的な法則を理解できる。 ・組合せを利用して、確率を求めることができる。 ・排反事象や余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・独立な試行や反復試行の意味を理解し、確率を求めることができる。 【思考・判断】 ・組合せや集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を考察できる。 ・独立な試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率について関心を持ち、具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。 ・実験を通して頻度の割合を求めたりすることで、確率の意味を理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査	中間考査		○	○		1

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～4組

教科担当者：（1組：渡邊）（2組：渡邊）（3組：野田）（4組：野田）（組：）（組：）

使用教科書：（数研 科学と人間生活）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象に理解を深め、科学的に探究するために必要な知識・能力を身につける

【思考力、判断力、表現力等】見通しをもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力を育てる

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技術を身につけている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しを持って実験・観察・調査などを行うとともに、物事を実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断しそれを表現することができる。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基礎となる科学に対して興味・関心をもつことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代の科学技術文明が科学によって支えられ、発展してきたこと、科学技術と科学を切り離して考えることができないことを理解する。	科学技術の始まり、人間生活の歴史	【知識・技能】 人間生活の歴史について理解している。 【思考・判断・表現】 科学の発展に人間生活の利便性への追求がかかわっていることを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのようにかかわりあって発展してきたか、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	4
	1編 物質の科学 A 材料とその再利用 ・身の回りの天然の物質や人口ば物質がどのような成り立ちでできているか理解させる。 ・物質の最小単位である原子組み合わせにより多くの物質が生まれ、その性質も決定されることに気付かせる。	原子、分子、化学結合、金属、プラスチック、資源の有効活用	【知識・技能】 プラスチック、金属がどのような性質か理解する。 【思考・判断・表現】 プラスチックや金属のどのような性質が製品として利用されているかを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 天然にある素材と人工的に作り出した素材が日常生活の中でどのように使われているか関心を持ち調べようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 食品と衣料 ・食品や衣料を構成する物質の多くが高分子化合物であることに気付かせる。 ・糖類の種類やそれがどのようなものに含まれているか理解させる。 ・タンパク質を構成するアミノ酸の構造と特徴を理解させる。	衣食にかかわる物質、天然繊維、化学繊維、食品と栄養素	【知識・技能】 食品の成分や、衣料材料の性質や用途を理解している。 【思考・判断・表現】 食品中の成分が生命体においてどのような役割を持っているか判断し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間生活に必要な衣・食について興味をもち自身が使用している製品について理解しようとしている。	○	○	○	14
	2編 生命の科学 A ヒトの生命現象 ・ヒトの生命現象と生活との関連を理解させる。 ・ヒトの眼の構造や、光刺激を受けてから脳に情報が伝わるまでの経路を理解させる。 ・DNAの構造を理解させる。	遺伝情報とDNA、眼の構造とはたらき、光の情報と生命活動	【知識・技能】 DNAの構造について理解している。眼の構造とはたらきについて理解している。 【思考・判断・表現】 眼の構造やはたらきについて実験の結果や考察を自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 視覚についての知識に基づいて、見えているものと実物との違いについて興味をもって観察することができる。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

2 学 期	B 微生物とその利用 ・発酵食品と微生物の関係について理解させる。 ・人間生活に利用している微生物や環境における微生物の役割について考えさせる。	微生物発見の歴史、発酵食品、乳酸発酵、アルコール発酵、医薬品と微生物、環境の浄化と微生物	【知識・技能】 微生物の生態系における役割や利用されている製品について理解している。 【思考・判断・表現】 微生物のはたらきに注目し、人がどのように食品や製品に利用しているかを関連付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な食品や製品に微生物の働きが利用されていることに興味をもち意欲的に学習しようとしている。					12
	3編 光や熱の科学 A 光の性質とその利用（光） ・光の直進性について、観察を通して学習させ、光を直線で表現できることを理解させる。 ・光の反射の法則や乱反射によって物を見ることができることを理解させる。	光の色、光の直進と反射、光の屈折と全反射、光の分散と散乱	【知識・技能】 もの見え方について光の反射や屈折に関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの光の現象を見出し、それらを科学的に分析して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然界にみられる光の現象に関心をもち、意欲的に調べようとする。					12
	B 光の性質とその利用（電磁波） ・可視光は電磁波の一種であり、また電磁波は波長の違いによってさまざまに利用されていることを学習させる。 ・波の特性としての回折と干渉について、実験を通して学習させ、光が波であることを理解させる。	光の回折と干渉、電磁波、電磁波の利用	【知識・技能】 電磁波が波長によって分類でき、可視光もそのひとつであること、電磁波が日常生活で利用されていることを理解できる。 【思考・判断・表現】 光の回折と干渉について理解し、光が波であることを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電磁波にかかわる科学技術が生活とどのような関係を持つかに関心をもち、科学的な見方・考え方を身につけようとしている。					8
定期考査				○	○		1	
3 学 期	4編 宇宙や地球の科学 A 太陽と地球 ・太陽や星の天球上の日周運動や年周運動を、地球の自転運動と公転運動から理解させる。 ・太陽について、大きさや表面の様子を理解させるとともに、太陽の活動が地球の環境にさまざまな影響を及ぼしていることに気付かせる。 ・太陽の高度による太陽放射のエネルギーの変化を理解させる。 ・日本列島の気候的な特徴と私たちの生活とのかかわりを考えさせる。	太陽系の天体、天体の運動と時間、天体の運動と海洋、太陽の放射エネルギー、日本の四季と気象災害	【知識・技能】 太陽が及ぼす影響や、太陽系の広がりや構造について理解している。 【思考・判断・表現】 地球から見える天体の動きについて自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽や月などの身近な天体と太陽系における地球について関心をもち、意欲的に調べようとしている。					12
	定期考査				○	○		1
	B 自然景観と自然災害 ・自然景観が風化作用、浸食作用、運搬作用・堆積作用などにより、長い時間の中で変化してきたことを理解させる。 ・地震や火山分布がプレートの境界面で起きていることを理解させる。 ・日本列島の地質的な特徴を理解させる。	日本列島とプレート、地震のしくみと地震活動、火山がもたらす恵みと災害、水のはたらきと自然景観	【知識・技能】 地震の仕組みや浸食・運搬・堆積作用について理解している。 【思考・判断・表現】 自然景観の成因や自然災害の起る状況を理解し、災害リスクを減らすための方法を科学的に考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの自然景観に興味をもち、その成					10
							合計	105

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育

科目: 保健

単位数: 1 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 4組

教科担当者: (1組: 阿部)

(2組: 黒井)

(3組: 阿部)

(4組: 黒井)

使用教科書: (

現代高等保健体育

教科 保健体育

の目標:

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	A 【生涯を通じる健康】 【知識及び技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康について、課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことができる。	・オリエンテーション ・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択	【知識・技能】 ライフステージと健康、思春期と健康、性意識と性行動の選択について理解している。 【思考・判断・表現】 生涯の各段階における健康課題の変化について、思春期における心の健康課題について、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	5
	定期考査	中間考査 無					
	A 【生涯を通じる健康】 【知識及び技能】 自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康について、課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことができる。	・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・働くことと健康	【知識・技能】 妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶、結婚生活と健康、中高年期と健康、働くことと健康について理解している。 【思考・判断・表現】 にんしん・出産の過程における健康課題、家族計画の意義と適切な避妊法などについて、習得した知識を基に課題を発見し健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を発見することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	6
定期考査	期末考査 有					1	
2 学期	B 【健康を支える環境づくり】 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境・食品に関する原則や概念に着目して健康を高める方法を考え、それらを表現することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことが出来る。	・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康	【知識・技能】 労働災害と健康、健康的な職業生活、大気汚染と健康、精神疾患への対処、現代の感染症とその予防、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて理解している。 【思考・判断・表現】 環境・食品と健康との関係を学ぶと同時に、社会全体の健康を高める取り組みや、国民1人ひとりが環境づくりに積極的に参画する意義や方法を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	5
	定期考査	期末考査 有				1	
	B 【健康を支える環境づくり】 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 環境・食品に関する原則や概念に着目して健康を高める方法を考え、それらを表現することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習に対して、意欲的に取り組むことが出来る。	・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加	【知識・技能】 医療サービスとその活用、医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解している。 【思考・判断・表現】 わが国における医療機関の仕組みや役割、医薬品の正しい使用方法などを理解し、行政機関における社会対策などについて説明することができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題に対して、積極的、意欲的に取り組むことが出来る。	○	○	○	5
定期考査	期末考査 有					1	
合計							30

年間授業計画

都立農産 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭

科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～

4 組

教科担当者： 1組～4組： 井関・石附

使用教科書：（実教出版 家庭総合）

教科 家庭

の目標：

- 【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題点を見出して課題を設定し、解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んでいる。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題点を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数	
1 学 期	A 生涯を見通す 【知識及び技能】 自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 今までの自分とこれからの自分について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活課題に対して意思決定を行うことができる。	・指導事項 これからの人生について考える ・教材 教科書、資料集、ワークシート、スライド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・発表やワークシートにて自身の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立について、課題解決に取り組み、改善しようとしている。	○	○	○	8
	B 経済生活を営む 【知識及び技能】 自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 販売方法や支払方法が多様化する中で責任ある消費行動がとれるよう、自ら考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任の変遷を踏まえて、どうすれば消費者市民社会が実現できるか考え、実践しようとする。	・指導事項 消費行動について考える ・教材 教科書、資料集、ワークシート、スライド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・消費生活の現状と課題について理解を深めている。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるように、消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づき行動できるように、問題点を見出して課題を設定し、解決策を構想している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査						1
2 学 期	C 持続可能な生活を営む 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や障害を見通した働き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるため、家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境との関わりについて工夫することができる。	・指導事項 経済的な自立について考える ・教材 教科書、資料集、ワークシート、スライド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について理解を深めている。 ・生活と環境との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を見出した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見出し、課題設定をし、解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					1	
2 学 期	A 衣生活をつくる 【知識及び技能】 健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について課題を設定し、解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするともに生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとする。	・指導事項 衣生活について学ぶ ・教材 教科書、資料集、ワークシート、スライド、エコバック制作キット、裁縫道具 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理できる。 ・衣生活の自立に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について課題を設定し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人とよりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするともに生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に実践しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査					1	

3 学 期	<p>A 子どもと共に育つ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の発達や親の役割と保育についてと生活について理解を深めることができる。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や課題及び子どもの福祉について理解を深めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>子どもの健やかな発達を支えるために、子どもとの適切な関わり方について問題を見出し、課題設定をし、解決策を構想し、実践を評価・改善しようとする事ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組む、実践しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>子どもの発達について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 <p>教科書、資料集、ワークシート、スライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解を深めている。 ・親の役割と保育について理解を深めている。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や課題及び子どもの福祉について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>子どもの健やかな発達を支えるために、子どもとの適切な関わり方について問題を見出し、課題設定をし、解決策を構想し、実践を評価・改善しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組む、実践しようとしている。 	○	○	○	10
	<p>B 人生をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>家族・家庭と社会の関りや家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を解決する力を身につけることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関りや保育・福祉について課題の解決に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>家庭・家族について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 <p>教科書、資料集、ワークシート、スライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭と社会の関りについて理解を深めている。 ・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について問題を見出して課題を解決する力を身につけている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関りや保育・福祉について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	10
							合計
							70

都立農産高等学校 令和8年度 (2学年) 教科

農業 科目 総合実習

教科： 農業

科目： 総合実習

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 3 組～ 4 組

教科担当者： 古家大夢 吉野文菜 土屋恵美 大野志津子 星郁香

使用教科書： 自校作成テキスト

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】食品に関する基礎・基本を身に付け、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品製造、食品分析に関する実習内容を理解し、必要な知識と技能を身につけている。	食品製造、食品分析について科学的に理解、判断し、結果をレポートに適切に表現できている。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	オリエンテーション 3分野をローテーションで学習する。 醸造：手前みその製造 畜産加工：バター、マヨネーズの製造 基礎実験：炭水化物の定性、実験室の使い方、滅菌方法と身近な衛生試験	食品製造実習における衛生指導および製造理論 実験器具の扱い方、実験の安全	【知識・技能】 生產品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを見て適切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいるか。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		1
2 学期	3分野をローテーションで学習する。 醸造：かめさん味噌の製品化、味噌プラント 畜産加工：卵の検査、豚肉の加工Ⅰ、Ⅱ 基礎実験：微生物の観察・顕微鏡操作、微生物の培養・酵母の分離Ⅰ、Ⅱ	食品製造実習における衛生指導および製造理論 実験器具の扱い方、実験の安全	【知識・技能】 生產品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを見て適切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいるか。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		1
3 学期	3分野をローテーションで学習する。 醸造：味噌プラント 畜産加工：豚肉の加工Ⅰ、Ⅱ 基礎実験：微生物の培養・酵母の分離Ⅰ、Ⅱ	食品製造実習における衛生指導および製造理論 実験器具の扱い方、実験の安全	【知識・技能】 生產品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを見て適切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいるか。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
						合計	108

都立農産高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 農業 科目 食品製造

教科： 農業 科目： 食品製造 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 3 組～ 4 組

教科担当者： （3組：吉野文菜）（4組：吉野文菜）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書： （食品製造（実教出版））

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品製造 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品製造について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、寒冷産業や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第7章 畜産物の加工 1 肉類の加工 2 牛乳の加工 3 鶏卵の加工 【知識及び技能】 畜産物の加工特性と加工品との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産物の種類に応じた原料の選び方、処理方法を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 畜産物の加工に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	・指導事項 肉の成分と加工特性 豚肉の加工 鶏肉の加工 牛乳の成分と加工特性 牛乳 発酵乳・乳酸飲料 チーズ アイスクリーム クリーム・バター・練乳 鶏卵の成分と加工特性 鶏卵の加工品 マヨネーズ ・教材 教科書、新食品成分表	【知識・技能】 原材料としての畜産物の特徴、及び畜産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、畜産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 畜産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の畜産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を畜産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第8章 発酵食品の製造 1 発酵食品の特徴と種類 2 みそ・しょうゆの製造 3 酒類の製造 【知識及び技能】 発酵食品の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 発酵食品における微生物の種類とその働きを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 発酵食品の製造に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	・指導事項 発酵食品とは 発酵食品と微生物 みそ・しょうゆ製造の基礎 麹・みそ・しょうゆ 酒とは 酒類製造の基礎 ワイン ビール ・教材 教科書、新食品成分表	【知識・技能】 発酵食品がそれぞれの国や地域で受け継がれてきた伝統食品であり、その製造方法に微生物の働きが欠かせないことを知識として習得し、現在でも職人の手法で製造されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 発酵食品の製造工程における微生物の作用により生じた成分の変化が、食品の風味を増したり、栄養面での食品機能の強化につながっていること化学的に捉え、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発酵食品の製造に関心を持ち、日本古来の発酵食品や地域に伝わる発酵食品の製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	15
	第6章 農産物の加工 2 豆類の加工 3 いも類の加工 4 野菜類の加工 5 果実類の加工 【知識及び技能】 農産物の種類と加工品の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 農産物の加工のしくみを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 農産物の加工に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	・指導事項 豆類の特徴とその加工品 大豆の加工 イモ類の特徴とその加工品 野菜類の特徴とその加工品 果実の特徴とその加工品 ジャム類 果実飲料 シラップ漬け 乾燥果実 ・教材 教科書、新食品成分表	【知識・技能】 原材料としての農産物の特徴、及び農産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を知識として習得し、農産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 【思考・判断・表現】 農産物を原料とした加工食品の製造方法を踏まえ、地域の農産物の特徴を生かした加工食品を製造するプランを立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原材料を農産物とした加工食品の製造に関心を持ち、原材料の特徴を生かし、衛生管理と倫理観にもとづいた食品製造を行う意欲・態度を身に付けている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>第9章 食品製造の実践と企業化</p> <p>1 食品製造における機械と装置の利用</p> <p>2 品質管理</p> <p>3 作業体系</p> <p>4 食品製造の実践</p> <p>【知識及び技能】 食品製造に使われる機会の用途や特徴を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 より良い作業方法を目指して自らの考えを表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 食品製造に関する機械や作業体系等に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身につけている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>加熱装置とその利用</p> <p>加熱殺菌と冷却</p> <p>冷却装置とその利用</p> <p>かくはん混合</p> <p>次世代の食品工場</p> <p>品質管理</p> <p>作業体系の改善</p> <p>食品企業の経営</p> <p>新製品開発</p> <p>生産性向上</p> <p>高校生による実践例</p> <p>・教材</p> <p>教科書、新食品成分表</p>	<p>【知識・技能】 食品の製造や保存に使われる機械の用途や特徴を理解している。 加工食品を衛生的かつ効率よく安定して製造するための検証・確立方法を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 食品の製造や保存に使われる機械を駆使し、衛生管理及び品質の安定した加工食品を提供するために作業体系を考案するとともに、作業チームとしてその内容を徹底するためにコミュニケーションを図りながら、作業体系を実行することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食品の製造や保存に使われる各種機械の構造や機能に興味・関心を持ち、用途に応じて正しい機械の使い方を学ぶ態度を身につけている。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		合計 70

都立農産 高等学校 令和8年度(2学年) 教科農業

科目 食品微生物

教科：農業

科目：食品微生物

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 3 組～ 4 組

教科担当者：(3組:土屋恵美・大野浩) (4組:土屋恵美・大野浩)

使用教科書：9条本 食品微生物 実教出版

教科 農業

の目標：

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】食品に関する基礎・基本を身に付け、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品微生物

の目標：

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品微生物について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品微生物に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1章 人間生活と微生物 微生物の基本的知識の習得を目的に、微生物研究の歴史、微生物の一般的性質、微生物利用の分野について理解する。	1 微生物を学ぶにあたって 1) 生命の誕生と生物の進化 2) 微生物とは 3) 微生物研究の歴史と発展 2 生活環境と微生物 1) 微生物と物質循環 2) 微生物と農業 3) 微生物と工業 4) 微生物と環境浄化	【知識・技能】人間生活と微生物について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】人間生活と微生物に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】人間生活と微生物について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9	
	中間考査			○	○		1	
	発酵食品の製造、食中毒や感染症、食品製造の衛生管理などの身近な食費生活と微生物の関りについて知識を深める。	3 食品と微生物 1) 発酵と腐敗 2) 発酵食品の製造 3) 食中毒 4) 経口感染症 5) 食品衛生 4 食品微生物とプロジェクト学習 1) プロジェクト学習とは 2) プロジェクト学習の進め方 3) 食品微生物におけるプロジェクト学習	【知識・技能】食品微生物について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】食品微生物に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】食品微生物について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
期末考査				○	○		1	
2 学期	第2章 微生物の種類と特徴(1) 「かび」・「酵母」・「細菌」について、それぞれの形態や特徴を理解するとともに、食品製造において、微生物を適切に利用、管理するための知識を習得する。	1 微生物の種類 1) かび 2) 細菌 3) 酵母 4) ウイルス	【知識・技能】微生物の種類について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】微生物の種類に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】微生物の種類について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	9	
	中間考査			○	○		1	
	第2章 微生物の種類と特徴(2) 微生物の種類と有用微生物について理解し、増殖に必要な栄養や環境条件について理解を深める。	2 微生物の生育環境 1) 微生物の栄養 2) 微生物の生育と環境要因 3) 微生物の増殖 3 微生物の遺伝 1) DNAの複製 2) 突然変異 3) 遺伝情報の発現	【知識・技能】微生物の種類と特徴について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】微生物の種類と特徴に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】微生物の種類と特徴について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
期末考査				○	○		1	
3 学期	第3章 微生物の代謝と酵素 糖の代謝、エネルギー獲得などの微生物の代謝の基本的知識を理解し、発酵について理解する。	1 微生物の代謝とその利用 1) 微生物の代謝 2) アルコール発酵 3) 有機酸発酵 4) アミノ酸発酵	【知識・技能】微生物の代謝と酵素について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】微生物の代謝と酵素に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】微生物の代謝と酵素について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
	期末考査			○	○		1	
							合計	53

都立農産高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 農業 科目 課題研究

教科： 農業 科目： 課題研究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 3 組～ 4 組

教科担当者：（ 3・4組：土屋恵美 加藤幸弘 味岡結奈 中島未香 今野翔太 古家大夢 松本海 吉野文菜 大野志津子 野口圭介 星郁香 清水康貴）

使用教科書：（ ）

教科 農業 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じて、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付ける	農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	実験・実験計画の確認 【知識及び技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心のある題材を設定する。	実験・実験計画の確認 ・オリエンテーション ・課題研究手引き ・年間研究計画 ・テーマ設定（担当教員との面談）	【知識・技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心のある題材を設定している。	○	○	○	6
	実験・実験の実践 【知識及び技能】 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心のある題材を設定する。	実験・実験の実践	【知識・技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心のある題材を設定している。	○	○	○	9
	中間報告書	中間報告書の作成	【知識・技能】 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	○	○		6
	1学期のまとめ 【知識及び技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心のある題材を設定する。	1学期のまとめ	【知識・技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心のある題材を設定している。	○	○	○	8

2 学 期	<p>実験・実習の実践</p> <p>【知識・技能】 課題解決に必要な知識・技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組む。</p>	実験・実習の実践	<p>【知識・技能】 新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。 新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	7	
	<p>発表パネルの作成・研究報告書の作成・2学期のまとめ</p> <p>【知識・技能】 新たな課題を発見し、解決するための知識・技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組んでいる。</p>	発表パネルの作成・研究報告書の作成・2学期のまとめ	<p>【知識・技能】 新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。 新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	24	
3 学 期	<p>研究報告書の完成 口頭発表</p> <p>【知識・技能】 発表に必要な知識を身につけ理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 聞き手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できるよう、成果をまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組んでる。</p>	研究報告書の完成 口頭発表	<p>【知識・技能】 発表に必要な知識を身につけ理解している。 効果的な発表に必要なPC操作ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組んでる。</p>	○	○	○	9	
	<p>1年間のまとめ</p> <p>【知識・技能】 効果的な発表に必要なICT利用ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組んでる。</p>	1年間のまとめ	<p>【知識・技能】 発表に必要な知識を身につけ理解している。 効果的な発表に必要なPC操作ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組んでる。</p>	○	○	○	2	
							合計	71